

ご挨拶

「この町に住んでよかった」
と思う町づくりを



日高川町長 笹 朝 一

5月1日、日高川町が誕生して一ヶ月余、多くの有権者のご支持のもと、激しい選挙戦の中を当選させて頂き、6月6日に多くの町民の皆様、そして議員、職員の皆様の出迎えをうけ、勇躍登庁することができました。心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、合併特例法のもと3町村の合併をしようと3町村合併協議会の設立をみたのが平成14年11月15日。以来、合併調印式を経て美山村、中津村そして川辺町が正式にそれぞれ議会で合併議決、多くの協議を経て、その方向性をお互い認め合い、新町「日高川町」が正式に平成17年5月をもって誕生したのであります。今、静かに回顧すると、町民の皆様方の同意、そして議会の皆様の議決と数々の経緯を経て、大乗的見地に立つて多くの方々の理解と協力のもと、期待と希望を抱いて、めでたく新町「日高川町」が発せしたのであります。人口1万1670人、面積33.1平方キロメートルのわが町は静かに船出し出港したのであります。明治初期の旧大字区村からの明治の合併、戦後の混乱の中

からの昭和の合併を経て、今回の地方分権化での平成の大合併であります。日高川の流れのもと、自然豊かで美しいわが町、道成寺を中心とした貴重な文化財、歴史遺産、伝統的祭礼や芸能が息づく町、農業と林業等の地場産業が盛んな町、緑重なる山々があり、日高川があり、みかんの花の平野があってホテル飛び交うユートピア、わが日高川町であります。今まで和歌山県下には50の市町村がありました。明年3月末には30市町村になる予定であります。わが町こそ県下に誇れる良い町日高川町であると私は自負しています。これからも町民の皆様と力を併せて新町日高川町の建設のため、町民の福祉向上のため、一生懸命頑張りたいと思います。そしてこの町に住んで良かった、また、住みたくなるようなすばらしい町づくりを議会と職員の皆様と力を併せて取り組んでゆきたいと考えています。町民の皆様方の温かいご理解、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

就任の

多様化する住民のニーズに
応えるよう一層の努力を



日高川町議会議長 林 雅 臣

新緑目にまぶしく、新町にふさわしい季節であります。

町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は町議会活動にご理解と温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

去る5月1日に川辺町、中津村、美山村が一体となり人口1万1670人、世帯数4130世帯、面積331平方キロメートルの新生「日高川町」が誕生いたしました。

新町発足に伴う臨時議会では、正副議長、各常任委員長などを選出し、新しい議会体制がスタートいたしました。議長選任では、不肖私が議長の重責を努めさせて頂くことになりました。もとより浅学非才ではございますが、新生日高川町誕生の年に議長の職を担うことの重大さを深くかみしめ、精進する決意でありますのでよろしくお願い致します。

3町村にはそれぞれ地域の特性があり、慣習や風習も少しではあります

が違いもあります。それぞれが、長い歴史の中で伝承され、また、大切にされてきたものばかりです。運命共同体となることが決められた今、新しい町「日高川町」に対する熱い想いを、みんなが大切にしようとするものが町の融合、一体化の促進につながるものとしております。今後におきましても、住民が生き活きと心豊かに暮らすことができる地域社会づくりが益々重要になってまいります。

町議会といたしましては、多様化する住民のニーズに応えるよう執行機関と相協力して、日高川町発展のため、また、住みよいまちづくりの実現のためにも、なお一層の努力をしていく所存ですので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。